

野田市立保育所指定管理者候補者 選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時 平成29年2月16日（木）午後1時5分から午後3時30分まで
開催場所 市役所 5階 512会議室
出席委員 副市長（委員長）、企画財政部長、総務部長、児童家庭部長、行政管理課長、管財課長、保育課長
事務局 保育課、行政管理課

1 開会

<委員長より開会の言葉>

2 議事

平成28年度（4月～12月）野田市立保育所業務報告書及び平成29年度野田市立保育所業務計画書の審査について

<事務局より平成28年度（4月～12月）野田市立保育所業務報告書及び平成29年度野田市立保育所業務計画書について指定管理者ごとに説明>

<審議の概要>

(1) 南部保育所について（業務報告書、業務計画書）

○ 業務報告書2ページの男性保育士の配置について、男性保育士が女児の着替えやオムツ替えは行っているのか。また、男性保育士の女児に対する保育について、指定管理事業者の考え方を伺いたい。

→ 株式会社コビーアンドアソシエイツでは、男性保育士はオムツ交換等を行わないように配慮している。なお、男性保育士が女児の着替えの補助を行うことになった際には、児童と二人きりの状況では行わず、必ず複数の職員のもとで行う体制を作っている。

保育については、性別に関わらず、日頃から園、職員と保護者との間の信頼関係の構築が重要であると考えており、そのためにもコミュニケーションを多くとり、保育の様子も積極的に開示する等を心掛けていると聞いている。

○ 野田市の方針はどうなっているのか。

→ 男性保育士の女児に対する保育に関しては、現在各事業者の考えを伺っており、今後の方向性について議論をしている状況である。

○ 業務報告書15ページ「個人情報の適切な保護が図られていること」、①書類

の管理について、保育所外への持ち出しの場合の取扱いマニュアルは作成しているか。

→ 保育所外への持ち出しは禁止しているため、マニュアルは作成していない。

○ 業務報告書17ページ「危機管理体制が確立されていること」について、防犯、防災対策を実施しているが、水害や竜巻などの風水害を想定した訓練の実施は考えているか。

→ 台風による水害を想定した訓練と竜巻発生を想定した訓練を年1回ずつ実施しており、台風による水害は、南部保育所が高台に位置しているため「園から下がった所の道路が冠水した」と想定し、むやみに避難せず、保育所の遊戯室に集まり、情報収集に努めることを想定した訓練を実施している。また、竜巻発生時の訓練は、速やかに窓から離れ、風の通り道を作らないよう窓を閉めた上で、遊戯室に避難する訓練を実施したと聞いている。

○ 業務報告書32ページ「事故、要望及び苦情の内容」の7月25日の事故については、保険の適用は問題なく進められたのか。また、相手から賠償を求められるようなことはなかったか。

→ 日本スポーツ振興センターの傷害保険が適用となり、手続は問題なく進められ、保護者から賠償を求められるようなことはなかった。

○ 38ページで、20時以降の延長保育の利用がないようだが、最近の南部保育所利用者の家庭環境や就労状況などの実態を踏まえ、今後の延長保育時間についてどう考えているのか。

→ 延長保育の利用状況は、午後10時までの利用者は各年齢で0名となっている。この人数は月極めの利用者数であり、月極め以外に日割り利用はある。日割り利用の実績としては、平成27年度は年間の延べ利用人数で52名（行政報告書より）、平成28年度は12月までの実績で延べ9名が利用している。

近年では午後10時までの利用者数が減少しているため、利用者ニーズを確認し、午後10時までの延長保育の必要性を検証したい。

○ 業務計画書16ページの食育菜園、クッキング保育に取り組んできた中で、子どもの成長についてどのような効果を期待しているのか。また、保護者からの感想や意見はどのようなものがあるのか。

→ 食事づくりの過程で、保育士の援助を受けながら自分でできることを増やしたり、食材の色、形、香りなどに興味を持ったり、友達と協力し合って調理することを楽しむこと等を狙いとしている。また、食材や調理を行う人に関心を持ち、感謝の気持ちを持つことを大切にしていると聞いている。

保護者からの感想も好評で、自分たちが収穫して、調理をした給食は格別の

ようで、野菜などの好き嫌いが無くなった等の意見をいただいたと聞いている。

○ 業務計画書35ページのおじいちゃん先生の配置について、日常的な修繕や登園時等の見守りを担当しているようだが、それぞれの専門分野を分かりやすく園児に教えるなどしているのか。

→ おじいちゃん先生について、日常的に子ども達と一緒に話をしたり、遊ぶなど、接する機会があるため、その中で世代間交流を図っている。おじいちゃん先生の今まで培った知識をもとに、季節ごとの行事の際に、例えば食育菜園の管理をしているため野菜の育て方や、おみこしの担ぎ方、門松の作り方などについて優しく教えている。

○ 業務計画書63ページ「(4) 人員配置計画」について、28年度と同じ内容だが、年度中途に保育士を増員することはできるのか。

→ 保育士の採用活動は通年行っているが、年度途中の採用となると、人件費の財源の措置がなければ難しいと聞いている。今後、財源措置がなされれば年度中途での増員も可能になると聞いている。

○ 一部クラスの持ち上がりが出来ていないことから、指定管理者はB評価としているが、担当課評価はC評価とすべきと思うが如何か。また、持ち上がりができるよう職員配置については市として厳しく指導していくということを選定委員会の意見としたいが如何か。

→ 異議なし。

(2) 北部保育所について（業務報告書、業務計画書）

○ 業務報告書2ページ「施設の効用(設置目的)が最大限発揮されるものであること」の中で、「地域に開かれた保育」として、年間を通じて、日常的に地域の方々と交流を行いました。とあるが、具体的な日常的な地域交流の内容を教えてください。

→ 定期的に園庭開放を行い、来園者からの相談等も受け付けている。

また、年長児の就学にあたり、近隣小学校との連携を図ったり、高齢者施設への訪問、野田中央高校の文化祭への参加や職場体験の受入も行っている。

○ 業務報告書4ページの第三者評価について、28年度に第三者評価を実施し、評価を保護者に公表しているようだが、その評価の概要を教えてください。

→ 平成28年度に第三者評価を実施しており、事業者からの評価結果が3月中旬以降に提出されるため、評価結果がまとまりしだい、公表すると聞いている。

なお、前回26年度の評価概要としては、子どもが生まれながらに持つ力を

引き出す保育ということで、約60年におよぶ保育実績に基づき行っている独自の「マトリクス保育」や季節・発達段階に合わせた制作、屋外遊び、多彩な行事を実施することで、しつけや基本的な生活習慣を学びながら創造性、芸術性、知的能力、運動能力を伸ばしている。などと評価されている。

○ 業務報告書24ページ「事故、要望及び苦情対応状況」について、担任が怖いといって園に行きたがらないとの苦情があるが、対応結果の記載内容では、児童が担任を怖がった理由が不明である。具体的にはどのような内容だったのか。

→ 担任が注意したことを繰り返し行うなどの行動があり、普段からたびたび注意をしていた。さらに、他児を理由もなく叩いたりするなどの行動も見られたため、担任がそのことに対して叱ったところ、日頃から注意を受けることが多かった本児が担任を怖がったと聞いている。

○ 業務計画書8ページのアレルギー児童への対応について、エピペンの預かり及び緊急時の対応を行っているとはあるが、実際にエピペンを必要とする児童が在籍しているのか。また、実際にエピペンを使用したことがあるのか。

→ アレルギー児は現在8名在籍しているが、エピペンを使用する児童はおらず、園でエピペンを使用したことはない。なお、使用方法については、職員間でマニュアル等を確認している。

○ 43ページ「(4) 人員配置計画」が28年度と比べ保育士が2名減となっている理由を教えて欲しい。

→ 法人全体で採用活動、人事を行っているため、今後、他園との配置のバランスも勘案しながら、最終的な平成29年度配置計画が決定する。

○ 一部クラスの持ち上がりが出来ていないことから、指定管理者はB評価としているが、担当課評価はC評価とすべきと思うが如何か。その他は適正に運営されているとしてよろしいか。

→ 異議なし。

(3) 木間ヶ瀬保育所について（業務報告書、業務計画書）

○ 業務報告書15ページ「地域との関わりへの取り組みがされていること」の中で、木間ヶ瀬保育所への進入路は狭く、児童の登退園時には、多数の車で混雑すると思うが、地域住民の方に対して、どのような配慮をしているのか。

→ 送迎のピーク時には保育所職員が進入路から保育所にかけての交通整理や誘導を行っている。

- 業務報告書 32 ページ「事故、要望及び苦情対応状況」の対応結果について、「その後、何か事を起こして来たら、保育所としては、苦情解決システムを使っての対応を行う。」とし、その後は何も起きていないようだが、仮に、このケースで苦情解決システムを使った場合、どのような流れと対応になるのか。
→ 第三者委員に助言や立会いを求めたりする等の措置を講じることとなる。
また、第三者委員を交えた話し合いでも解決しない場合、当事者は社会福祉協議会の運営適正化委員会に申し出ることができる。
- 業務報告書 40 ページ「人員配置」のうち、今年度の保育士の異動人数について教えて欲しい。
→ 保育士の異動はない。
- 業務計画書 12 ページ「給食（おやつ）の提供への取組」のクッキング保育は、何歳児を対象に実施しているのか、また、料理に不慣れな保育士も存在すると思うが、指導者や安全管理体制はどのように行っているのか。
→ 5歳児が対象となっている。安全管理は、子ども用の包丁を用意し、食材のカット、ピーラーで野菜の皮むきを行うが、必ず職員が子どもの手を持って行っている。
また、実施前には、保育士に対し安全管理について、指導を行っている。
- 業務計画書 38 ページの地元職員の積極雇用について、地元職員の割合はどのくらいか教えて欲しい。
→ 職員 25 人のうち地元雇用者が 16 人のため、6割程度となっている。
- 一部クラスの持ち上がりが出来ていないことから、指定管理者はB評価としているが、担当課評価はC評価が適正かと思うが如何か。その他は適正に運営されているとしてよろしいか。
→ 異議なし。

(4) 尾崎保育所について（業務報告書、業務計画書）

- 業務報告書 3 ページ「個人情報適切な保護が図られていること」、「①個人情報保護のための取組状況」中、保育所外への持ち出しを許可する場面があるのか。ある場合は、取扱いマニュアルは作成しているのか伺いたい。
→ 保育所外への持ち出しは許可していないため、マニュアルは作成していない。
- 業務報告書 3 ページ「①地域との関わりへの取組状況」に地域の高齢者団体との交流会を 4 回行ったとあるが、その具体的な内容を伺いたい。

- 取組み内容は、「芋の苗植え」、「芋の収穫」、「1月のふれあい遊び(伝承遊び)」、「運動会への招待」を行っている。運動会は晴れていれば玉入れ等に参加していただくが、今年度は雨だったため、尾崎小学校の体育館内でお遊戯の見学をしていただいたと聞いている。
- 業務報告書3ページ「危機管理体制が確立されていること」に、防犯対策として、安全指導員を配置したと記載されているが、実際に不審者チェックが防犯対策に寄与したのか。また、交通安全の指導で、啓発できたのか等、効果について伺いたい。
- 児童の登降所時に道路を横断するため、門の前で事故が起きないように保護者を誘導している。交通安全指導などはしていないが、防犯対策や児童、保護者の安全確保は確立されていると聞いている。
- 業務報告書14ページ延長保育のうち、20時までの利用実績が無いが利用者はいないのか。
- 業務報告書に記載のある延長保育の利用者は月極めであり、月極め以外の日割り利用者が12月までの実績として、延べ291人いる。
- 日割りの利用者がわかるような表記にすべきではないか。
- 今後は日割り利用者がわかるように表記していく。
- 業務報告書15ページ「(3) 休日保育利用数」に関し、休日の保育時間と人員配置について教えて欲しい。
- 休日保育の開所時間は午前7時から午後6時までとなっており、人員配置は、シフト制で保育士2名を配置し、対応できない場合は、野田市内の系列園から1名を配置している。
- 「療育支援チーム」の活動に関する報告の記載がないが、尾崎保育所及び花輪保育所での活動状況について伺う。
- 園からの要望に基づき巡回しているもので、臨床心理士等が園に出向き、半日から1日、該当児童の様子を見た上で、個々に応じた保育の進め方や保護者への伝え方等について、担任にアドバイスをしているもの。
なお、花輪保育所では6人が利用しており、尾崎保育所では利用はない。尾崎保育所は、該当児童はいるが、療育支援チームに依頼せずに保護者の希望に従い、いちいの会の専門職の方に相談していると聞いている。
- 業務計画書5ページ「④児童の健康管理への取組」に内科検診年2回、歯科検診年1回、尿検査は年1回とあるが、これらの検診の回数は、法的根拠によ

るものなのか、指定管理事業者独自の基準なのか教えて欲しい。

→ 保育所における児童の健康診断については、学校保健安全法施行規則第6条において規定する児童生徒等の健康診断の検査項目に準じて実施しており、実施回数については、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第12条の規定に基づき実施している。しかし、歯科検診と尿検査の実施回数までの規定はないため、仕様書に実施回数を明記し実施させているもの。

○ 一部クラスの持ち上がりが出来ていないことから、指定管理者はB評価としているが、担当課評価はC評価が適正かと思うが如何か。全体的に支障なく運営できているとしてよいか。

→ 異議なし。

(5) 花輪保育所について（業務報告書、業務計画書）

○ 業務報告書3ページ「危機管理体制が確立されていること」の中で、防災対策として、付近に急傾斜地を抱える保育所として、日頃から気を付けていることを伺いたい。

→ 急傾斜地ということで、避難場所を変更している。また、月一回の避難訓練で、児童や職員に防災に対する意識付けをしている。

○ 業務報告書10ページ「事故、要望及び苦情対応状況」の8月6日の夏祭りで保護者が撮影した写真のSDカードを持ち帰ったことについて、行事における保護者の役割と保育所のSDカード管理との関係などを具体的に教えて欲しい。

→ 花輪保育所の保護者会には、卒園アルバムを作成するために3人のアルバム委員がおり、各行事の担当委員が自分のカメラとSDカードを使用して、児童を撮影し、その日のうちに所長に申し出て、園のパソコンに保存した上でSDカードのデータを削除する事になっていた。

しかし、今回のケースは担当委員が誤って持ち帰ってしまったことから、再発を防ぐための対策を講じたと聞いている。

一つは、保育所がSDカードを用意し、SDカード用の貸出簿を作成し、貸出した保護者名と貸出、返却時に対応した保育士名を記入することで、返却の有無を確認できるようにすること。二つ目は返却後、所長もしくは担当保育士がSDカード内のデータを確認し、パソコンに保存した後に削除することとしたとのこと。

○ 業務報告書16ページ裏面の「人員配置状況」について、児童数が定員に達していない中で常勤保育士が1名減となっているが、平成29年度の業務計画

書の人員配置計画では、増員できるよう人材は確保されているか。

→ 現在、平成29年度当初の配置については、異動を含め、人事事務を進めているところであり、まだ、確定はしていないが、必要数の人員は確保できる予定と聞いている。

○ 業務報告書16ページ「自主事業報告」について、実績がないが、今回のみ実績がなかったということなのか。

→ 記載漏れのため、自主事業として実施している英語教育等を記載する。

○ 業務計画書5ページの「①防犯対策への取組」に、日々の防災対策の取組として、2か月毎に不審者訓練の実施とあるが、具体的にどのような訓練を実施するのか教えて欲しい。

→ 不審者が園内に立ち上がった場合を想定し、職員の役割を再確認することを目標に実施している。職員が不審者役、不審者対応役、避難役などの役割を交互に担当して実施することで、危機対応のスキル向上を目指しており、次回（2月）は公園に散歩に行つて不審者に遭遇した場合を想定した訓練を実施する予定。

○ 一部クラスの持ち上がりが出来ていないことから、指定管理者はB評価としているが、担当課評価はC評価が適正かと思うが如何か。その他は適正に運営されているとしてよろしいか。

→ 異議なし。

(6) 清水保育所について（業務報告書、業務計画書）

○ 業務報告書2ページ「②サービス改善への取組状況」の中で、アンケートの実施とあるが、主な要望事項とその対応について教えて欲しい。

→ 夕涼み会、運動会、お楽しみ会の3つの保護者参加の行事後にアンケートを実施しており、夕涼み会に軽食を出して欲しいとの要望に対し、チーズドッグ等を出すようにした。

また、本部が年1回実施している利用者アンケートの中で、行事の際に広い駐車場を借りて欲しいとの要望があり、これについては人員確保等も含め現在検討していると聞いている。

なお、頂いたご意見やご感想、ご要望に対しては、職員間で検討しその内容を掲示し周知するとともに、次年度の運営に反映させるように努めている。

○ 業務報告書4ページからの「地域との関わりへの取組状況」の中で、近隣のデイサービス及び清水高校生徒との交流事業について、主な交流内容と園児と

参加者の反応について教えて欲しい。

また、コビーさくらのさと保育園との交流とあるが、どのような交流を行っているのか伺いたい。

→ 近隣のデイサービスとの交流は、デイサービス主催の夏祭りへの参加やハロウィンでのお菓子のプレゼント役、園から手作りリースをプレゼントする等を行っている。

また、清水高校との交流事業については、高校生が絵本を持参し、子ども一人に対し高校生二人が付き、読み聞かせをしてもらい、ゲームや戸外遊びをするなどして交流をしており、いずれも、子どもたちは交流を大変楽しみにし、また参加された方からも喜びの声をいただいているため、職員以外の大人と交流できる良い機会として、今後も地域の方との交流を継続していくと聞いている。

コビーさくらのさと保育園との交流については、清水台小学校で行われる小学1年生との交流会と一緒に参加し、伝承あそびや一緒に歌を歌ったりしており、今後はお互いの保育所を訪問する等、さらに交流を深めていくことを考えていると聞いている。

○ 業務報告書5ページ「個人情報の適切な保護が図られていること」、①個人情報の保護への取組状況の中、保育所外への持ち出しを許可する場合は、あるのか。ある場合は、取扱いマニュアルを作成しているか伺いたい。

→ 保育所外への持ち出しの許可はしていないため、マニュアルは作成していない。

○ 業務報告書8ページ「③人材育成の取組状況」について、経験別研修・実技研修・系列園や園内研修などを数多く実施しているとあるが、その具体的な内容と実際に職員に受講させた研修を教えてください。

→ 階層別研修（主任・リーダー研修、新卒マナー研修、2年目研修、3年目研修など）を受講しており、また自主研修（施設外研修）は延べ90人受講している。

研修に参加した職員は職員会議で研修報告を行い、個人だけではなく園全体の資質の向上に努めている。

○ 業務計画書2ページ「③自己評価及び第三者評価の実施と活用について」の「第三者評価の実施時期について」に、実施する時期を今後検討していくとあるが、他の指定管理は既に第三者評価を実施していることを踏まえると、早急に実施すべきと考えるが如何か。

→ 速やかに実施できるよう日程調整をしたい。

○ 業務計画書10ページの「朝のマラソントイム」についてはどの程度の距離なのか、どのような効果があると分析しているか。季節によっては汗をかくことが考えられるが、着替え等を行っているのか。

→ 3分間程度の音楽を流す間、自分のペースで休まず走ることを目標に実施しているもの。その結果、1周約80m程度を休むことなく走れるようになり、体力の向上や走る楽しさ、意欲、頑張る気持ちが育つと分析している。

着替えは適宜行い、子ども自身が「汗をかいたら着替えよう」とする気付きにも繋がっていると聞いている。

○ 一部クラスの持ち上がりが出来ていないことから、指定管理者はB評価としているが、担当課評価はC評価が適正かと思うが如何か。全体的に支障なく運営されていると評価してよいか。

→ 異議なし。

(7) 東部保育所について（業務報告書、業務計画書）

○ 業務報告書3ページ「個人情報の適切な保護が図られていること」、①個人情報の保護への取組状況の中、保育所外への持ち出しを許可する場合はあるか。

→ 個人情報に関する書類を園外へ持ち出すことは禁じている。個人情報に関する規定は独自に作成している。

○ 業務報告書3ページ「③安全対策の状況」に点検チェックシートを用いて点検を行っているとはあるが、チェックシートの項目を教えて欲しい。

→ チェックシートの項目は、①こどもの動線に障害物はないか。②棚等に転落物が乗っていないか。③危険なものが保育室にないか。④壁面物は適切に貼ってあり、落ちていないか。⑤コンセントにカバーがしてあるか。⑥ベビーベットのねじが緩んでいないか。の6項目となっている。

○ 業務報告書8ページ「(8) 事故、要望及び苦情対応状況」を見ると、保育士の配慮不足に起因する事例が見受けられる。6ページ「研修報告」のスキルアップ研修の具体的な内容を教えて欲しい。

→ スキルアップ研修（新人か中途対象）は主に保育技術の研修が中心に行われている。29年度の研修から児童及び保護者への対応に関する内容を追加する予定と聞いている。また、1月に行われた、市と保護者及び事業者とで実施している運営協議会の中では保育運営に満足しているとの意見もいただいている。

○ 業務計画書6ページ「①防犯対策への取組」に、送迎者登録制度の実施とあるが、緊急時に未登録者が迎えにきた場合はどう対処するのか教えて欲しい。

→ 送迎者登録以外の方が、お迎えになる場合は事前に電話等で連絡を頂くことで対応しており、連絡なしにお迎えに来た場合は、保護者に電話で確認し、確認が取れた場合に児童を引き渡すと聞いている。

<審議の結果>

平成28年度(4月～12月)野田市立保育所業務報告書及び平成29年度野田市立保育所業務計画書について、指摘事項の修正も含め承認

3 閉会